

農林業体験インターンシップ事業 「アグリウオッチング」 実施要項

1 目的

先進農家及び企業、大学等における農林業体験をとおして、農林業に対する興味・関心を高め、あわせて最新の知識や技術に触れ、農林業への資質を育むとともに、将来の担い手確保に資することを目的とする。

2 対象

県立高等学校の生徒30名（定員になり次第、締め切ります）

3 日程

平成20年8月12日（火）10:00～15:00

4 内容

別添 農林業体験インターンシップ事業「アグリウオッチング」スケジュールのとおり

5 会場

◎高知大学農学部（物部キャンパス）

〒783-8502 南国市物部乙200

Tel 088-864-5114（代表）

◎有限会社 なっばくらぶ

〒781-5223 香南市野市町西佐古新田1295

Tel 0887-56-4744

6 持参物

農作業ができる服装（学校のジャージ・シューズ、帽子、軍手、タオルなど）

作業時の飲料水

筆記道具

昼食費500円（会場で学校毎に徴収します） 等

7 申し込み

別紙「アグリウオッチング参加申込書」を平成20年7月4日（金）までに、FAXにて高等学校課長へ提出すること（定員になり次第、締め切ります）

8 報告書の提出

本事業終了後、別添の「アグリウオッチング報告書」に参加生徒の感想などを添えて高等学校課長へ提出すること

9 問い合わせ先

高等学校課 担当 澤村定克

Tel 088-821-4846

Fax 088-821-4547

農林業体験インターンシップ事業 ー「アグリウオッチング」スケジュールー

1 実施日時：平成20年8月12日（火）

2 バス運行

【行き】（出発時間は予定です）

東部経由 室戸市 7:30発⇒（注1）⇒
 中部経由 高知市 8:30発⇒（注1）⇒
 西部経由 四万十市 7:00発⇒（注1）⇒

高知大農学部
農学部着9:50

【帰り】（到着時間は予定です）

なっばくらぶ	東部経由 ⇒（注1）⇒室戸市 17:00着
香南市発15:10	中部経由 ⇒（注1）⇒高知市着 16:30着
	西部経由 ⇒（注1）⇒四万十市着 18:00着

（注1）参加生徒の状況によりバス停留場所を決定、後日関係学校へ別途連絡します。

3 会 場

午前「高知大学農学部」 〒783-8502 南国市物部乙200 Tel 088-864-5114
 午後「(有) なっばくらぶ」 〒781-5223 香南市野市町西佐古 Tel 0887-56-4744

4 日 程

10:00	11:00	12:00	13:00	13:30	15:00
概要紹介 高知大学農学部（物部キャンパス）	研究所等見学	昼食・更衣	バス移動	農林業体験学習 （なっばくらぶ）	

- 10:00～10:50 ・高知大学農学部の概要紹介
（50分） 研究内容、社会貢献の状況等
- 11:00～11:55 ・フィールドサイエンスセンター見学
（55分） 栽培・研究施設の見学
遺伝子実験施設・樹林園・ガラス室、温室
ガラス室・放牧場・演習林苗畑・果樹園
飼料園・南国フィールド 等
- 12:00～13:00 ・昼食 大学内食堂・更衣
- 13:00～13:20 <バス移動：高知大⇒なっばくらぶ>
- 13:30～14:50 ・農林業体験学習（有限会社「なっばくらぶ」）
- 14:50～15:00 ・閉式（アグリウオッチング終了）
- 15:10～ ・帰校

5 問合せ先：高知県教育委員会事務局 高等学校課

〒780-8570 高知市丸ノ内1-7-52 Tel 088-821-4846

担 当：澤 村 定 克

平成20年度 アグリウオッチング 参加申込書

学校名 _____

記入者 _____

No.	参加生徒氏名	男・女	学年	学科名	昼食個数
1					
2					
3					
4					
5					
6					
7					
8					
9					
10					
引率教員(職・氏名)		(職)	(氏名)		

参加生徒人数	人
--------	---

昼食合計(500円)	個	円
------------	---	---

*昼食希望者は高知大農学部到着後に学校単位で徴収します。
釣銭のいらぬようお願いいたします。

平成20年度 アグリウオッチング 報告書

学 校 名							
記入者（職・氏名）							
参加生徒氏名		学年	学科名	参加生徒氏名		学年	学科名
1				4			
2				5			
3				6			
成 果							

*生徒の感想文等添えて提出願います。

アグリウオッチング 参加生徒心得

1 農林業体験インターンシップの目的

農林業体験インターンシップは、学校教育の一環として皆さんが先進農家や農林業関係の企業、大学などで体験学習をする事業です。農林業体験インターンシップの目的を十分に理解し、人間関係や規律などを実際に体験し、皆さんの今後の進路計画に役立ててほしいと思います。農林業体験インターンシップの目的は次のとおりです。

目 的

- ① 理解する：実際に農林業の知識や技術に触れ、進路設計に役立てる。
- ② 体験する：農林業の喜びや厳しさ、やりがいなどを実際に体験する。
- ③ 交流する：農林業に携わる方々との交流をとおして、コミュニケーション能力や問題解決能力を高める。

2 農林業体験インターンシップの心構え

(1) 一般的な心構え

- ① 皆さん一人ひとりが、本校を代表する生徒であることを自覚し、体験場所での規律を守り、何事にも真剣に取り組んでいこう。
- ② 体験中に分からないことがあれば、指導担当者に質問し『積極的に』取組もう。
- ③ 農家や企業・大学では、皆さんのために大切な時間を割いて素晴らしい体験の場を準備していただいていますので、常に感謝の気持ちを忘れないようにしましょう。

(2) コミュニケーション

農家や企業・大学で、受け入れられ溶け込むことができるよう良好な関係をつくろう。

- ① あいさつを大切にしよう。
- ② 与えられた仕事は、責任を持ってやりとげよう。
- ③ 分からないところは、一人で判断せず担当の方とよく相談しよう。
- ④ 注意されたら、素直に直していこう。
- ⑤ 態度や言葉づかいに注意しよう。また、身だしなみも注意しよう

(3) 体験学習のマナー

- ① 心構え
 - a 身だしなみ
 - A 校則に違反のないようにする。また、農作業の体験があるため爪は短く切りしておくこと。
 - I 携帯品
筆記用具、メモ帳、軍手、タオル、帽子、飲料水などの準備。
 - b あいさつは積極的にする。あいさつは、コミュニケーションの第一歩です。
- ② 仕事中の心構え
 - a 体験学習での規則や約束事を守り、指導担当者の指示に従って安全作業に努める。
 - b 与えられた仕事は積極的に取組み、作業終了後、必ず指導担当者に報告する。
 - c 農作物はもちろん機械や機材等は大切に扱い、使用後は所定の場所に戻す。
 - d 無駄話をせず、体験学習に集中する。
 - e 自分の担当場所を無断で離れないように。やむを得ず離れるときは、指導担当者の許可を得る。
 - f 仕事中に携帯電話は使用しない。
 - g 脱水症状他は大変危険なため、頻度に水分補給をする。
 - h 体験学習中に事故がおきたら、すぐに指導担当者に報告し指示に従って行動する。
 - i 体験学習中は、十分に健康管理し、体調不良など気分が悪くなった場合は、速やかに指導担当者に報告をし指示に従う。